

## 平成29(2017)年「正覚寺報」9月号

## ご案内

## 親鸞聖人七百五十回大遠忌実行委員会

9月3日(日)19時～、第8回実行委員会を営んで戴きます。大変ご苦労様です。

お稚児さんの参加申し込みの門戸は今暫く開けております。お稚児様参加の思い出は人生に残ります。“外孫さん”のご縁も含め、“北小松地域外”のお方にも、わが事としてお声をおかけ戴きたくお願い申し上げたいのです。

## 秋の彼岸会

9月22日(金)正覚寺14時～及び19時半です。尚、他院様の日程は下記の通りです。

・9月20日(水)徳勝寺、9月21日(木)種徳寺

・9月23日(土)法泉寺、9月24日(日)徳善寺

どうぞ、お誘い合わせてお参り下さい。

## 親鸞聖人七百五十回大遠忌法要ご準備から

お早うございます。「ご院さん、お稚児さんの参加申込書はありませんやろか」。親戚のお孫さんの参加が叶ったというのです。

朝がこのようにして明けることは有り難いことです。目の前がパツ明るくなるからです。

お稚児さんというのは、大遠忌法要を営むに当り庭儀宿からお御堂までおねりの行列にお稚児様にお入り戴くことを申します。当日は、十三時半～十四時までのおねりです。

総代様方には、貸衣装の相談に京都の仏具屋さんに足を運んで戴きました。

Q.なんで、七百五十回大遠忌と言うんです？単に七百五十回忌とは言わんのですか？

A.普通の人のお法事はせいぜい百回忌で終わりますが、浄土真宗のお法りを開いて下さった親鸞聖人のお徳を偲んで750回もの遠いご法事を営むのです。それ故“遠”の一字を入れ、お徳の

尊さに対して“大”という字を当てます。“大”は、仏様の働きにしか用いない文字なのです。

記念の幔幕(まんまく)が染め上がりました。総代様お二方のご懇志で奉納して戴きました。

内陣(ないじん)と外陣の間の襖(ふすま)の貼り替えが完了し8月6日いち早くおさめて戴きました。これも御門徒様お一人の懇志によります。

振り返って、御遠忌の準備は、目に付かないけれども全体を支える屋台骨のようなところから順を追って進めて来て戴いて参りました。

・本堂屋根の雨漏りに対する大修復は、急遽御心配戴いた御門徒様のご懇志によりました。

・本堂外壁から扉に亘る塗装修復は、平成27年に手掛けて戴きました。

・いよいよ御遠忌の年も明け、本堂・客殿の照明をLED化致しました。その目的は、本堂建設当初の配線とコンセントでは漏電・トラッキング火災が懸念され防火処置が急がれたからです。3月半ば修復は終わりました。但し、天井裏のVA配線の更新は、今回、足場工事までは賄えない制約下で割愛せざるを得ませんでした。

・本堂放送設備は、9月7日に更新して戴くことになりました。総代長様のご懇念によります。

・本堂内陣の畳(じょう)の表替えと一部新調は、唯今進行中で、彼岸会迄には仕上げる予定です。

いよいよ御遠忌当日まで三ヶ月を切りましたので、ご法要にご出席戴くご法中・坊守・総代様方へのご案内状の発信の時節となりました。

送り先お一人お一人とお近づきを思い起こしつつ、身の丈にあったご案内状を認めるのは容易ではなく、手が掛かる程に値打ちを覚えます。“簡単なもの程値打ちがない”、既に還浄(げんじょう)した前住の言葉が蘇えます。合掌